



希望の丘 高田西小学校だよりNo.7

<http://www.nishi.jorne.or.jp/> E-mail takada-w@jorne.or.jp

令和2年9月16日 発行

密度の濃い！運動会でした。

前日、前々日はフェーン現象の猛暑で、当日の午後は雨という「ここしかない！」9日（水）午前中に無事行うことができました。ありがとうございました。運動会の中で特に心に残った場面、気付いたことを紹介します。

リレーの名勝負いっぱい！

大接戦、大逆転、目を見張る走りを見せた子が何人もいました。そして、どの学年も真剣にかつ楽しそうにリレーに取り組んでいたのがよかったです。

1学期から体育の時間に一生懸命リレーをしてきた成果が出ました。ある2年生の感想で、「5、6年生は後ろを見ないで上手にバトンパスをしていて、すごいと思った」というのがありました。低学年が高学年の姿を見て感動し、学ぶというのは、とてもよいことです。

ユニークだった、「のびる子送り」

大玉を送るという点は共通ですが、低・中・高学年と送る動作が変わります。大玉が進んで行くと、だんだんと気分も盛り上がります。特に、5、6年生がいわゆる大玉送りをしながら、自分の頭上を通過した後、大玉を追いかけて走って行く姿が何とも言えず楽しさがあふれていました。

運動会の様子を参観していた上越市教委の清水管理主事が、「このゲームは、誰が考えたんですか？とっても楽しいですね。準備もシンプルでいいですし。」と感心されていました。

団体競技の勝ちチーム、舞台上で満面笑顔

今回の運動会は、競技も応援も得点はつけませんでした。ただ、1～6年の全員リレーと団体種目、全校種目には、勝者チームに手作りの勝利の旗を授与しました。（あの立派な旗は6年担任の手作りです。土日に一気にできあがったことは驚きでした）このアイデアがよかったと思います。ポートボール台に乗った勝者チームの代表者が、とっても嬉しそうな顔で「取ったぞ～！」と叫ぶ姿、それに対する温か



い拍手が起こるのは、とても素敵なシーンでした。

やっぱり、金谷山太鼓・金管鼓隊！

5年生、6年生は毎年運動会での発表の機会を大きなイベントとして心待ちにしています。正直、音の響きだけをみれば、グラウンドよりも体育館での演奏の方が優れています。でも、運動会の場で、たくさんのお客の前での演奏というのは格別の思いがあります。この演奏を見て、多くの低・中学年の子どもは、「自分も金管鼓隊を演奏したい！」「4年になったらあの太鼓をたたきたい。のぼりを持って口上をやってみたい」等の夢やあこがれをもつのです。金谷山太鼓、金管鼓隊ともに、気持ちの入った素晴らしい演奏でした。



のびる子運動会でのコロナ対策

【密を避けるために】

- ・平日の実施、3校時分の時短（暑さ対策でもあります）
- ・テント使用や場所取り行為を避ける、応援できる場所の指定
- ・広めの児童の応援席（2mは確保できませんが、1mは確保できました）
- ・保護者の参観者も1家庭2名までのお願いをしました

【体調管理として】

- ・児童の朝の検温チェック
- ・保護者に対し、「体調不良の方の参加」をご遠慮願う

【接触を避ける】

- ・団体種目は、人との間隔を空けた玉入れ（なおかつ、低・中・高学年の発達を考慮した変化のあるルールを考えました）
- ・全校種目「のびる子送り」での軍手使用。共通の道具（大玉）に触るので、素手にならないように配慮しました

【大声（飛沫）を出さない】

- ・声を出す応援はしない。手拍子程度。（応援歌の声とBGMは、録音によるものです。）

【*熱中症対策】

- ・競技中、及び応援席でも、マスクを外す
- ・途中、一斉に体育館に入り、休憩時間を確保し、スポーツ飲料を補充した
- ・ミスト付き扇風機の設置及び職員が子どもたちの手に霧吹きで水をかける

…等の取組をしました。充実した教育活動とコロナ対策の両立は、難しいことですが工夫しながら取り組んでいきます。コロナ感染症対策の上越市教委の文書の中に、「**文部科学大臣からのメッセージ**」がありましたので、本日配布しました。（別紙）

残念ながら、全国のあちらこちらで、コロナ感染に伴った差別や偏見、誹謗中傷が起きているようです。私たちの共通の敵はコロナウイルスです。決して人ではありません。みんなで協力し、支え合って危機を乗り越えていきましょう。